



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 鶴見区諸口三丁目 新築工事		
建設地	鶴見区諸口3丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	988.13 m <sup>2</sup>		
建築面積	344.09 m <sup>2</sup>		
延床面積	3,470.36 m <sup>2</sup>		
構造/階数	RC造 / 地上14階		
完了年(予定)	2028年1月		

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**B+**  
BEE=1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 78%  
③上記+②以外の 78%  
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の低減に努めている。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い躯体材料や配管材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明等、設備システムの効率化にも努め、省エネルギーに配慮した建物としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げが容易に分別可能なことから部材再利用の可能性向上に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.4

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える外皮性能とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4を超える(相当)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ]
	0.81	0.81	-